

「新しい東北」官民連携推進協議会

**令和3年度
岩手県意見交換会(第1回)**

事務局提出資料

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

2021年10月4日

● 目次

1. 今年度のテーマ設定と参画いただく課題に挑戦している企業
2. 本日の論点
3. 課題に挑戦している企業の概要と取組紹介
4. 課題に挑戦している企業との連携による取組イメージ
5. 実践の場企画案
6. 今後のスケジュール

● 1. 今年度のテーマ設定と参画いただく課題に挑戦している企業

今年度テーマは「関係人口を活用した集中的な地域の磨き上げ、PR、モデルづくり」と設定し、課題に挑戦している2企業の参画により、商品の開発・ツアー醸成・PRとそれらを通じたノウハウの抽出・普及展開を目指します。

テーマ	<p>＜複数年で取り組むテーマ＞ 関係人口の維持・拡大＋地域産業の活性化 ＜今年度＞ 関係人口を活用した集中的な地域の魅力の磨き上げ、PR、モデルづくり</p>
取組に関する 主な意見 (第0.5回意見交換 会)	<ul style="list-style-type: none">・ 個社が個別に取り組んでいたものを地域の魅力としてまとめ、一体となって発信するような取組・ 関係人口拡大のための地域産業の強化・ 他県の事例共有に基づく課題解決検討・ 専門家による地域の魅力の磨き上げ、地域商社機能の活用・ 関係人口による周知拡大・販促
取組に参画いただく 課題に挑戦している 企業	<ul style="list-style-type: none">・ 有限会社宝来館 岩崎昭子氏・ 陸前高田企画株式会社 村上清氏
今年度末の 到達目標	<ul style="list-style-type: none">・ 専門家・関係人口を活用した商品（地域産品・ツアー）開発・PRの実現・ 上記達成の成功要因や必要な支援・制度等をノウハウとして整理、対外的な発信

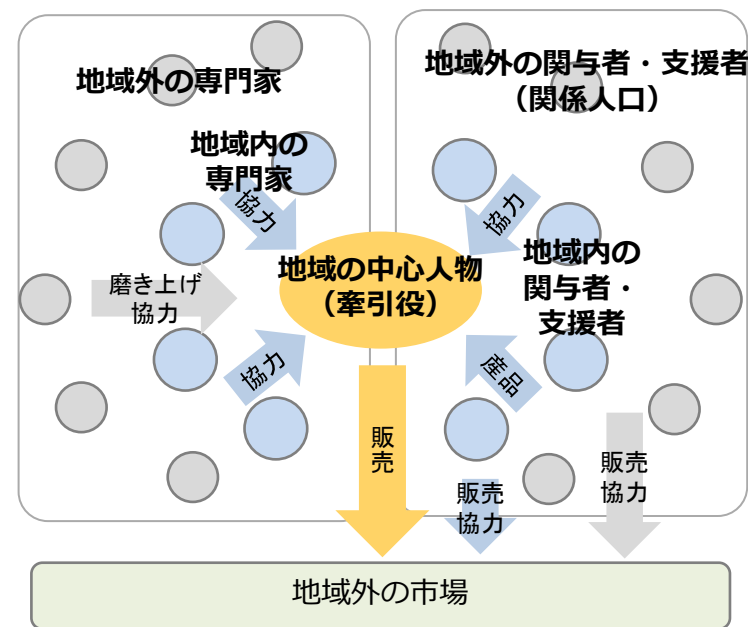
牽引役を中心に、地域内外の専門家のアドバイスに基づく地域産品の磨き上げと、関係人口を活かした販売拡大のモデルを作る

過年度意見交換会で議論された要素（抜粋）

震災伝承・風化防止	<ul style="list-style-type: none"> 震災から10年が経過し、伝え手の高齢化も進んでおり、若い世代の関与が必要 重いテーマだけに、きっかけは地域産品やお祭り、食などであってもよい
関係人口強化、つながりの維持	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度実践の場合では、過去に岩手と関係のあった人が集まり、今後に向けた活動について議論 これまでの「3.11」（伝承重視）から一歩踏み込んで「3.12」（未来志向の活動）を始めようという意見
地域産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 沿岸部の産業の活力が戻らない 震災や復興をきっかけにした新規事業や地域産業の活性化を図りたいが、首都圏や海外の市場にアクセスできない

現状における課題感や取組たいテーマは議論されたが、実現する取組には至らず

取組実現のイメージ



- 地域の中心人物を中心に、地域の産品を扱う事業者や地域内の協力者が協力体制を構築（地域内協力体制）
- 地域内外の専門化により、商品・サービスを磨き上げ
- 地域外の関与者（関係人口）は、個人のSNSや所属する会社等を通じて商品の販売に協力（地域外協力体制）

●（参考）宮城・福島のテーマ設定

	宮城	福島
テーマ	＜複数年で取り組むテーマ＞ 「観光振興」「伝承と地域の魅力の発信」 ＜今年度＞ 地域の魅力の磨き上げ	＜複数年で取り組むテーマ＞ 学生の地元就職が進む枠組み作り ＜今年度＞ 学生主体のコミュニティを組成し、学生目線での発信を行う
取組に関する 主な意見	<ul style="list-style-type: none">・個社が個別に取り組んでいたものを地域の魅力としてまとめる・地域の魅力の発掘・磨き上げと、伝承を組み合わせたオンラインも含めたツアー醸成や情報発信・伝統技術の体験等も交えた見せ方検討・地域の魅力を支える人材育成・アプリを用いた情報発信	<ul style="list-style-type: none">・高すぎない目標設定で、ものづくりや技術体験などを出口に設定・取組の効果を計測できる指標（中長期で地元就職率、短期でSNS閲覧数等）の設定とモニタリング・インターン等の既存取組での不足に着目した目標設定・県内外の学生や企業側のニーズの目線での情報収集・発信
課題に挑戦している 企業	・石巻圏観光推進機構 齊藤雄一郎氏	・あすびと福島 半谷栄寿氏
今年度末の 到達目標	<ul style="list-style-type: none">・ターゲット設定・商品開発・ツアー醸成・PR実現 <ul style="list-style-type: none">・上記達成の成功要因や必要な支援等をノウハウとして整理、対外的な発信	<ul style="list-style-type: none">・活動基盤の組成、取材・発信用の記事や動画の作成、学生間での発信の実現

● 2. 本日の論点

複数年度および今年度のテーマを踏まえた今年度の目標達成に向け、効率的・効果的に取組を進めるため、取組内容の具体化を中心に議論させていただきます。

論点 1	課題に挑戦している企業と連携し、年度末の達成目標に向け、どのような取組を実施するか
論点 2	ノウハウの普及展開と本年度の取組成果の観点から実践の場はどのような企画にすべきか
論点 3	論点 1、2 を踏まえ、第2回までに課題に挑戦している企業と共に何を検討・実践・検証すべきか

● 3. 課題に挑戦している企業の概要と取組紹介

宝来館の岩崎さまは、これまでの10年間で地域の魅力づくりを進めてこられており、この先の10年間で持続的な地域の産業にしていくための活動を展開されています。

企業名	有限会社宝来館	事業内容	宿泊業
本日の参加者	代表取締役 岩崎 昭子様 <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅館の女将として、被災体験の語り部として幅広く活躍 ・ 『地域住民主体の英国式ボートレスキューの仕組みづくり』などを実施する団体、（一社）根浜マインドの代表理事も務める 		

今年度 テーマに関連 する課題や取 組イメージ	目指していること	直近の取組
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物が生きやすい場所づくり ・ 3/11は未来を考える日。そして、その未来がすでに始まっていることを見せる ・ 人と自転車と馬車と電気自動車が走る街 ・ できることを持ち寄って一緒に作りあげる場所づくり ・ アイディアの波及効果を定量的に可視化することに課題あり ・ 個別の活動を継続性のある地域としての産業にしていきたい 	<p>②魅力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> はまなすプロジェクト 震災で復活したミズアオイ群生の見学 SUP・カヌー体験 水門・防波堤見学 サイクルイベント <p>③関係サイクルづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな関係人口 既存の関係人口 <p>共同経営組織</p> <p>①場づくり</p>

● 3. 課題に挑戦している企業の概要と取組紹介

陸前高田企画の村上さまは、グローバルなリレーションを活用しつつ、海外富裕層が「実際に行って体験したい」と思えるような環境づくりを進めておられます。

企業名	陸前高田企画株式会社	事業内容	観光をはじめとした、各種企画事業
本日の参加者	代表取締役 村上 清様	<ul style="list-style-type: none">元国連職員、外資系金融機関など幅広い経験を有してグローバルな市場開拓を展開震災以降、NPO立ち上げや市での勤務など、陸前高田の復興に尽力	

今年度
テーマに関連
する課題や取
組イメージ

目指していること

- 地域の文化・自然資源を活用し、持続可能な地域経済の実現
- そのために、地域の観光や物産の世界に通用する高付加価値ブランドへ育成
- 同時に多様な人材が関与し、就業できる機会を創出し、ビジョン達成を目指す(域外専門人材関与や域内人材の成長促進等)
- 短期的にはModern Luxury型富裕層に支持され、受け入れ可能な観光地形成の取り組みから推進

直近の取組

観光

①拠点づくり

既存宿泊施設の高付加価値化

観光拠点の掘り起こし・商品化

②魅力づくり
(観光モデル構築と発信)

観光モデルづくり

花火等イベント

スポーツ

海産・星空

発信・プロモーション

インフルエンサー

ファンマーケティング

③環境づくり

交通整備(シャトルバス等)

人材育成(ガイド等)

ファンづくり

④関係サイクルづくり

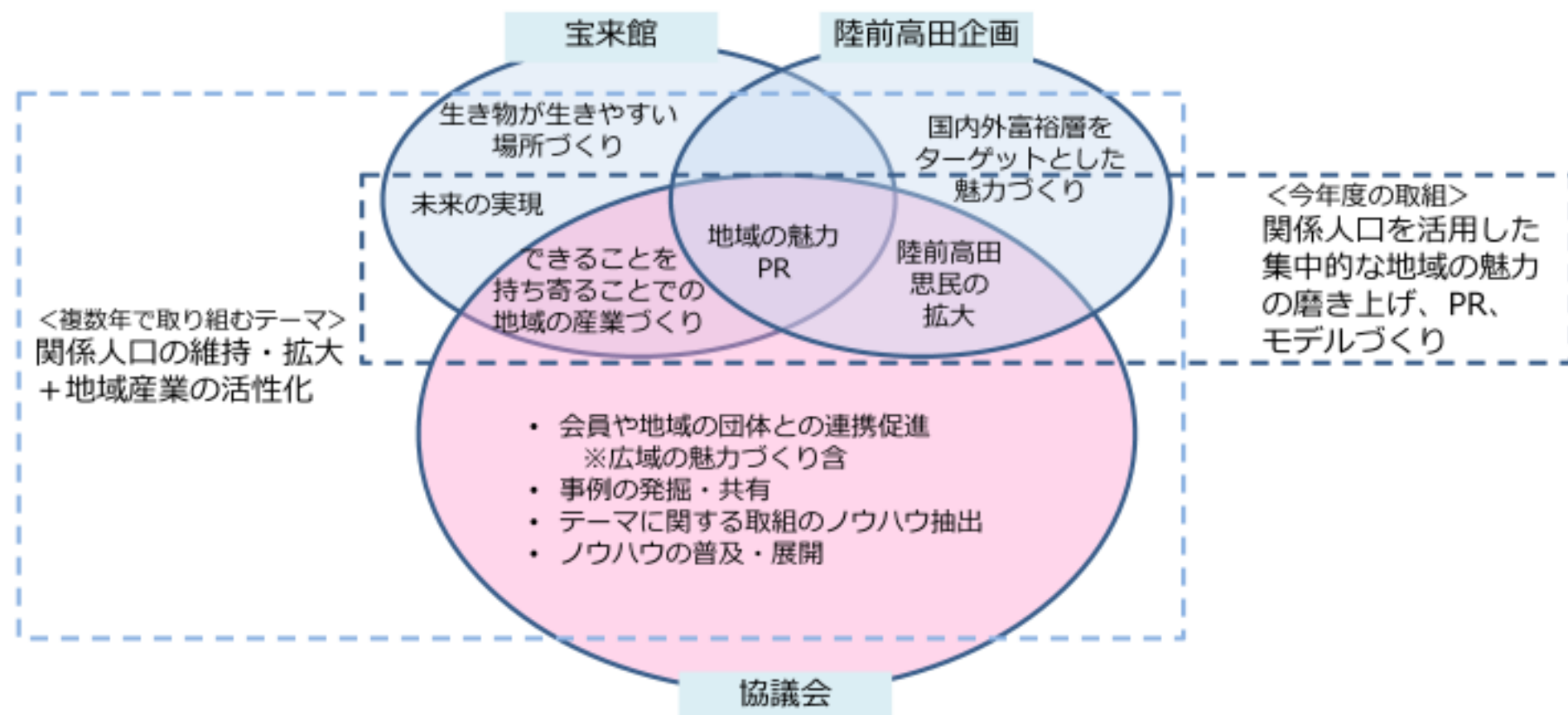
陸前高田思民※

協議会活動との重なり
余地のある個所(想定)

※思民：陸前高田市内に定住する者に限らず、本市に関心と愛着を持ち、「陸前高田ファン」等、本市と関係を持続ける人（陸前高田人口ビジョン及び第2期まち・ひと・しごと総合戦略）

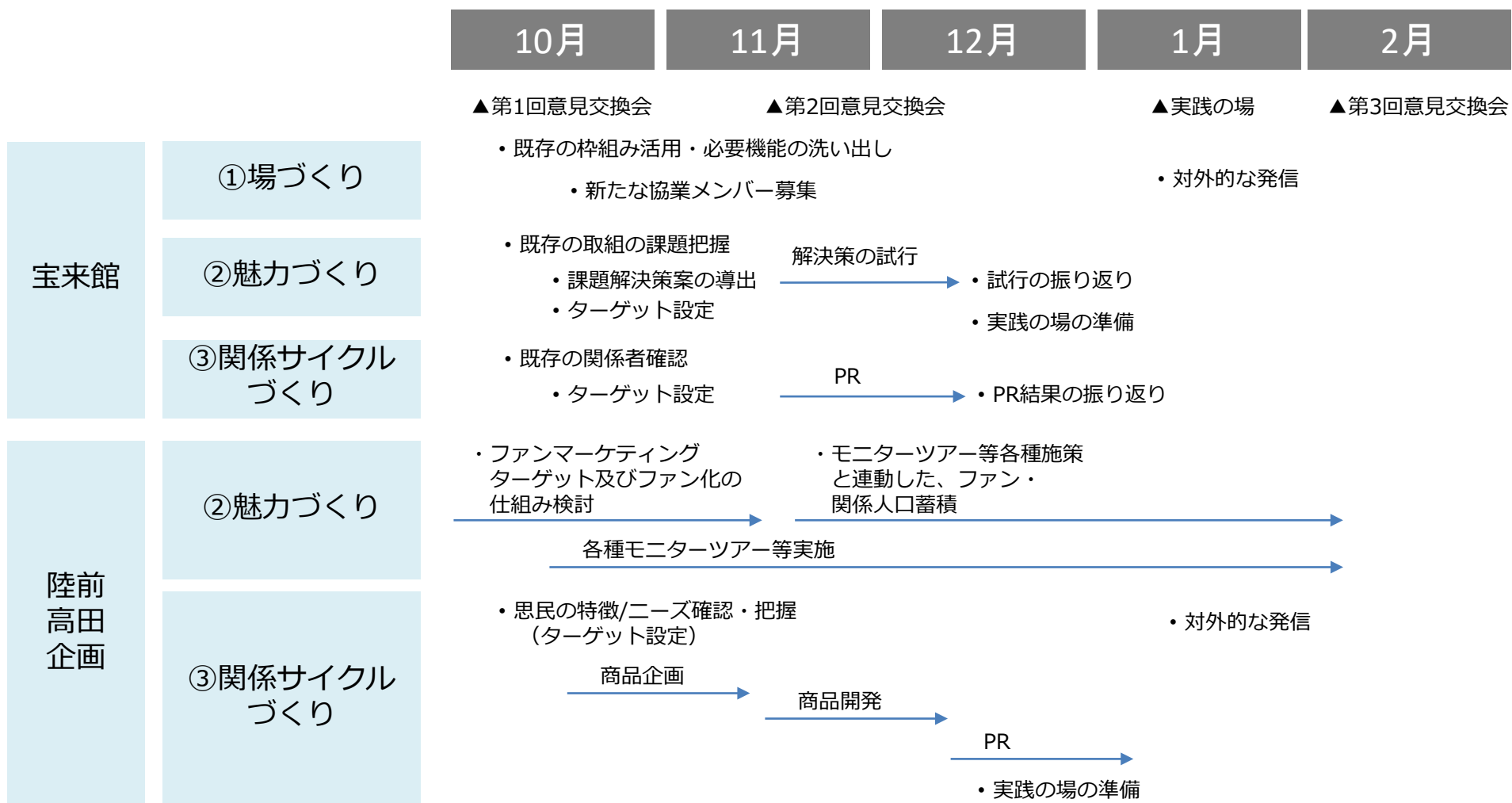
● 課題に挑戦している企業と協議会との連携の方向性

地域の魅力の磨き上げ、PRのための企画・検討・実行を連携して実施することで、様々な立ち位置からの検討による魅力向上・プロジェクト化による実行までのスピードアップが期待できると考えます。



● 4. 課題に挑戦している企業との連携による取組イメージ

本年度取組の推進のため、下記の取組に連動し、副代表団体・事務局による支援を実施する想定です。



● 5. 実践の場企画案

ターゲットへのPRやアイデア創出の目的別にいくつかのバリエーションを検討しています

	方向性 1	方向性 2	方向性 3
目的	関係人口を活用した地域魅力の磨き上げと外販促進	新たな関係人口の獲得	地域の魅力を高めるための関係人口を活用した新たなアイデア創出
ターゲット	地域産品に関する県外・国外のターゲット層	訴求するアクティビティや商品のターゲット層	若年層
形式	商談会・双方向トークイベント	オンラインツアー体験・パネルディスカッション	ワークショップ
内容	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口を対象に、岩手らしさのある商品を体感してもらい、今後の活動協力につなげる 関係人口の方の周辺に期待する協力等をテーマに、「課題に挑戦している企業」、生産者、傍聴者で対話する 	<ul style="list-style-type: none"> 今の岩手を体感してもらう 新しい岩手を感じられる場所・アクティビティを動画で紹介 今の取組、今後の展望、実現に向けた工夫、必要な協力等をテーマにパネルディスカッションで関係人口に伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 今の取組をベースに、さらに地域の魅力を高めるためのアイデアを生み出す 新しい岩手を感じられる場所・アクティビティを動画で紹介 岩手の資源を題材に、地域の魅力としての磨き上げ、ターゲットへ伝えるためのアイデアをワークショップ形式で生み出す
参加者	課題に挑戦している企業 地域産品の生産者、関係人口	課題に挑戦している企業 生産・提供に関与している企業	課題に挑戦している企業 興味がある若者
	③関係サイクルづくりを重視	③関係サイクルづくりを重視	②魅力づくりを重視

● 6. 今後のスケジュール

本日の議論を踏まえ、第2回意見交換会までの取組を整理します。

	10月					11月			
	4日～	11日～	18日～	25日～	30日～	1日～	8日～	15日～	22日～
事務局		第2回向け準備				第2回実施			
		課題に挑戦している企業の活動支援							
宝来館		<div>・ 既存の枠組み活用・必要機能の洗い出し</div> <div>・ 新たな協業メンバー募集</div> <div>・ 既存の取組の課題把握・関係者確認</div> <div>・ 課題解決策案の導出</div> <div>・ ターゲット設定</div>				解決策の試行			
陸前高田 企画		<div>・ 思民の特徴/ニーズ確認・把握 (ターゲット設定)</div> <div>商品企画</div>							
							商品開発		